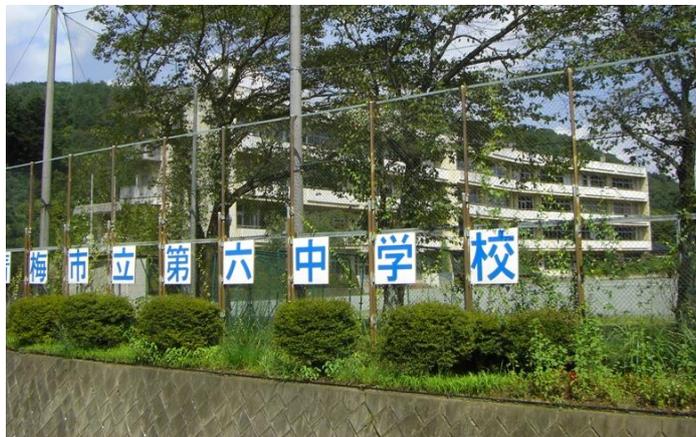
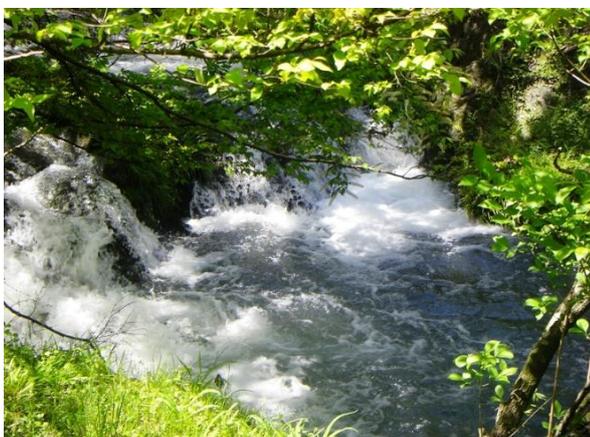


令和元年・令和2年度 青梅市教育委員会 研究指定校  
研究主題 「地域と連携した学校づくり」



四季折々に美しい姿を見せる青梅第六中学校の姿  
生徒たちは、この美しい自然と共に3年間の中学校生活を送ります。

## 青梅市立第六中学校

〒198-0003 東京都青梅市小曾木 4-2040  
TEL:0428-74-5344 FAX:0428-74-5716

## 1 はじめに

本校は青梅市教育委員会の指定を受け、2年間の研究指定校となりました。本研究のためにご支援、ご指導頂きました青梅市教育委員会 岡田教育長様をはじめ、指導室の先生方には厚くお礼申し上げます。

さて、本研究は第六中学校の教職員が教育目標を達成するために、地域との連携を大切にしながら学校づくりをしてきた実践事例を中心にまとめました。次年度は、皆様方にご指導頂き、さらに研究を深めて参ります。今後ともご指導をどうぞよろしくお願い致します。

校長 市川 晃

## 2 第六中学校の紹介



東は飯能、西は青梅坂に続く東西7キロ、南北6キロの細長い学区である。市街化調整区域であり、世帯数が増えず、生徒数が減少している。親子三代で生活する家庭が多く、隣近所仲良く生活している環境である。四季折々の花々や動物などの自然環境にも恵まれ、地域の住民の学校教育への関心は高く、協力的である。

生徒は真面目で素直であり、相手への思いやりの気持ちを大切にしている。行事やイベントなどにも一生懸命に取り組むことができる。また、数多くの地域の行事にも積極的に参加することができる。

## 3 第六中学校の教育目標

一豊かな人間性とたくましく生きる生徒の育成を目指して一

優しい人になろう（人間関係形成力）

心身ともに健康で、自分の考えや気持ちをしっかり表現でき明朗で優しく思いやりの心をもつ生徒を育成する。

正しい人になろう（問題解決能力）

広い視野と国際感覚をもち、互いの人格を大切にすることを基本に、善悪の判断と責任ある行動がとれる生徒を育成する。

たくましい人になろう（実践力）

目標に向かって強い意志とたゆまぬ努力によって、主体的に心身ともに鍛え成長する生徒を育成する。



## 4 研究主題設定の理由



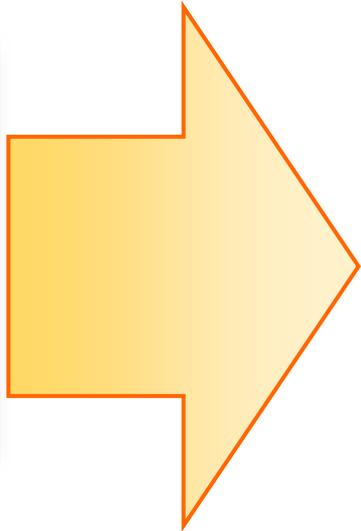
これからの学校は、地域の方々に学校をより理解、協力していただき、多様な教育目標を実践していくことが求められている。それにより、生徒はコミュニケーション能力や社会性が築かれ、地域にとっては活性化につながり、学校にとっては特色ある学校づくりにつながっていくのである。その点を踏まえながら、地域との連携をさらに深め、より良い学校づくりのために、地域と一体になった活動を実践していくこととした。学校運営連絡協議会との連携を密にし、地域との交流を積極的に行うことで生徒が地域の中の一員であることを自覚し、地域の中で成長していくことを目指すためにこの主題を設定した。

5 地域との連携図と実践例

青梅市教育委員会



青梅市立第六中学校



- PTA 役員**
- 本部役員
- ・会長 ・副会長
  - ・庶務 ・会計
- 常置委員
- ・整備厚生委員
  - ・広報研修委員
  - ・生活指導委員
- 会計監査
- ・監査委員長
  - ・監査委員
- 地区委員
- ・各地区委員
- 各学年保護者

- 学校運営連絡協議会**
- ・地域自治会役員
  - ・同窓会長
  - ・学識経験者
  - ・PTA 副会長
  - ・民生児童委員
  - ・主任児童委員

- ・第六支会
  - 富岡自治会
  - 小曾木自治会
  - 黒沢自治会
- ・小曾木市民センター
- ・青梅市立第七小学校
- ・おそき保育園
- ・おそきの学校と地域を考える会
- ・第六中学校同窓会
- ・青少年対策小曾木地区委員会
- ・消防団第6分団
- ・第6支会地域の安全をまもる会
- ・おそきウインドアンサンブル青樹
- ・小曾木リサイクル協力会
- ・蛍保護



消防団第6分団との連携事業【初期消火訓練】



第七小学校との連携行事【小中合同音楽会】



地域との連携事業【避難所開設訓練】



おそきの学校と地域を考える会との連携事業【ヘリサイン更新】



青少対・地域との連携事業【黒沢川清掃】



市民文化祭との連携事業【茶道部のお点前】



おそきウインドアンサンブル青樹との連携活動



おそき保育園との連携【職場体験】



小曾木リサイクル協会との連携事業【資源回収】



第七小学校との連携事業【合同あいさつ運動】

## 6 生徒の感想文より

### 黒澤川清掃活動



今回の清掃活動では、反省点がいくつかありましたが、開会式では、委員長として人前でしっかりと発表できました。委員長と副委員長の連携がたりず、当日少し困った点は、次回への反省点です。(3年実行委員長)

集合時間に遅れずしっかりと集合できました。暑かったけれど、お年寄りの方から、小さい子供まで、たくさんの方が参加してきれいな川にすることができました。中学3年生だから、今年で最後だけど、地域のために、よく働けたかなと思います。私が清掃を担当した場所は、ずっと上り坂でゴミもたくさんあったけれど、一緒に行った中学生の二人も一生懸命ゴミ拾いをしていました。地域の人たちと協力して大切な川を守ることができました。来年は今年を超えるようなきれいな川にできるよう、みんなで協力して頑張ってください。(3年生)

### 小曾木地区文化祭 (生徒の感想文より)



- ・茶道の先生にたくさん教えていただきました。お母さんみたいに着付け、道具の準備をしていただき、ありがとうございました。
- ・物を大切にし、感謝の気持ちを持ち、敬意を払うことを学びました。
- ・お点前では、常に緊張感を持つことが大切だと実感しました。
- ・練習した手順と違ったところがありました。本番では、自分で判断して動けばよかったです。
- ・知っている方に気を許して、普段と同じ口調で話してしまいました。これからは、お客様への敬意を忘れないように接したいです。



小曾木市民センターで行われた小曾木市民文化祭に出演しました。「おそきウインドアンサンブル青樹」の皆さんと一緒に、美女と野獣や秋のメドレーなどを演奏しました。その日は、譜面台が倒れてしまうほどの強風でしたが、多くの地域の方々が見に来てくださりとても嬉しかったです。また、演奏後には温かい豚汁をごちそうしていただき嬉しかったです。今回も、多くの地域の方々に支えていただいていることを改めて実感できた本番でした。また来年も文化祭で演奏したいです。

### 職場体験 (かわなべ鶏卵農場)



この職場体験で、鶏卵農場の仕事の楽しさや面白さ、大変さを知ることができました。特に集卵の作業では、思ったよりも時間がかかって大変でした。川鍋さんが集卵をしているところを見て、とても速く、びっくりしました。今回の体験で習った、ていねいな作業を、今後の生活に生かしていきたいです。

## 7 今年度の取り組みからの成果

今年度の取り組みでの一番の成果は、学校運営連絡協議会の委員の方々を通じて、地域の各種団体、地域の人達とのパイプが増えたことである。そして、連携した行事やイベントに多くの生徒が参加できたことも良かったことである。その中で、防災訓練の避難所開設訓練の際には、地域の方々から「中学生がよく働き、活躍してくれました。」という言葉をいただき、地域のために働くことの喜びを学んだ瞬間でもあった。とかく反抗期で大人を敬遠する年代だが、地域の方々の力によって着実に成長した一年であった。

## 8 次年度への課題

今年度の研究は、地域とのかかわりが増えたことが成果であったが、そのパイプをより太くしていくことが更に必要である。そのためには二点の改善が必要である。

一点目は、学校運営連絡協議会の委員の方々の選出である。学校の方針を理解し、ご協力いただける委員にお願いしなければならない。また、地域の組織や人材をよく知っていることも重要である。

二点目は、地域の会議などに積極的に参加することである。教員も参加することで地域との信頼関係が深まり、より協力的になるのである。その信頼関係を構築することで、地域からの協力を得ることができる。

次年度は、以上二点に特に重点を置きながら研究を進めていきたい。

## 9 ご指導いただいた先生方

文部科学省コミュニティスクールマイスター  
青梅市教育委員会 教育委員  
青梅市教育委員会 指導室長  
青梅市教育委員会 指導主事  
その他 教育委員会の先生方  
地域の各団体の皆様方

井上 尚子先生  
稲葉 恭子先生  
手塚 成隆先生  
田中 晴恵先生

## 10 編集後記・研究に係わった教職員

本校では、今年度、青梅市教育委員会より2年間の研究指定校の指定を受け、「地域と連携した学校づくり」を研究主題として研究を進めてまいりました。特に、学校と地域・保護者が一体となっていくに教育活動を推し進めていくに重点を置いています。そのために、伝統的な地域行事を継続しつつ、新たな取組も実践してまいります。また、学校運営連絡協議会の役割を見直すとともに、コミュニティ・スクールへ移行する機会となるよう、次年度は、今年度の研究成果を基に、一層地域との連携強化を図ってまいります。

最後になりましたが、本校の校内研究についてご助言をいただきました文部科学省コミュニティスクールマイスター・井上尚子先生をはじめ、多くの皆様に、心からお礼を申し上げますとともに、今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

副校長 佐藤 正和

—研究に係わった教職員—

(○研究主任)

校長 市川 晃  
副校長 佐藤 正和  
主幹教諭 佐藤 正孝 村木 孝明 渡辺 慎  
主任教諭 ○平林 知子 笹川真帆子 辻 慎一  
教諭 烏山 凌輔 大平 慧徒 田村 拓巳  
養護教諭 岩田 晶  
都事務 渡邊千佳子  
市事務 小島 恵子 用 務 古井 建司

